

【1 貯留構造物】

- 貯留構造物は、埋立てられた廃棄物の流出や崩壊を防ぎ、安全に埋立廃棄物の貯留及び保管を行うための構造物です。
- 構造の種類は、貯留構造物の種類の中で比較検討を行った結果、工事に伴う発生土が利用可能で基礎地盤形状の適用範囲が広く、かつ、法面緑化により周辺環境や景観との調和が図れる「盛土ダム」形式を選定しました。
- また、下図のとおり貯留構造物の安全性を考慮して、堰堤の法面勾配を緩やかにし、堰堤頂部の平場を広くする等の安全性を高める方策を実施します。

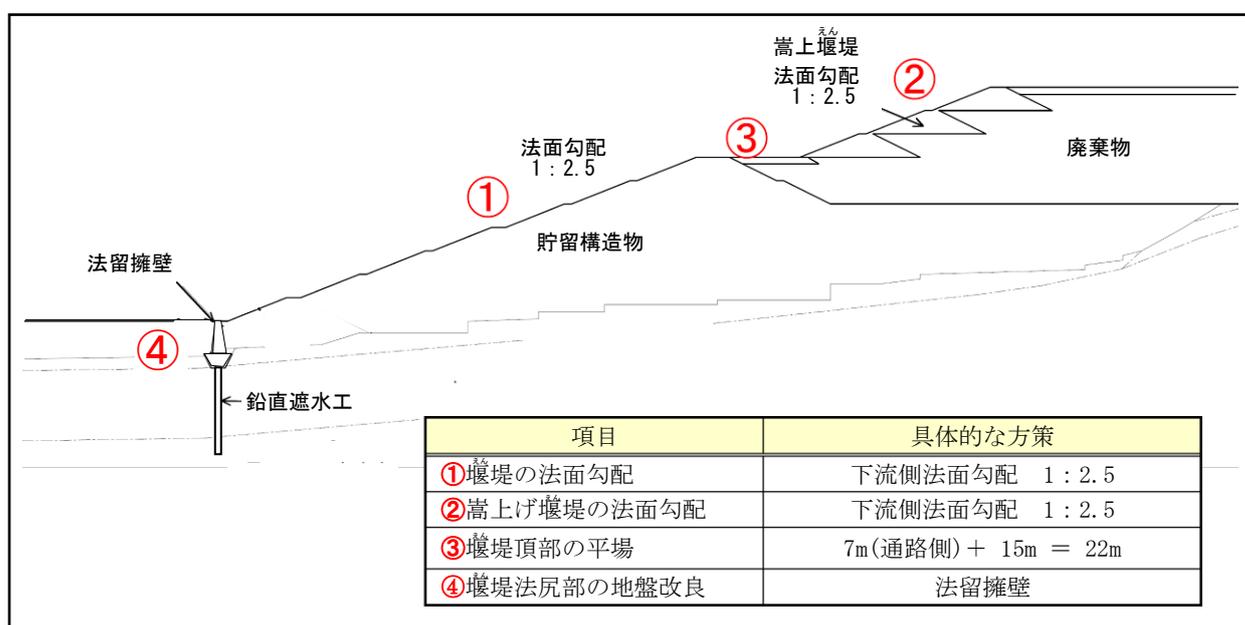


図 貯留構造物の安全性を高める方策

- 貯留構造物は、堤体にセメント系添加剤を加えて改良することにより、「平成25年度広島市地震被害想定調査」における事業計画地付近の想定最大震度「震度6弱」に対し、十分安全な堤体を造ります（耐震強度は、設計基準の2倍以上となっています。）。